

平成 19 年の天気概況

<平成 19 年の気候統計値>

冬は、冬型の気圧配置になることが少なかったため**暖冬**となった。また低気圧が本州の南岸を通過することが多かったため県南部を中心に多雨となったが、県北部では少雨、多照、少雪となった。

春は、周期的に寒気が流れ込み、気温の変動が大きく、県北を中心に気温が平年より低い日が多かった。3～4月の降水量は全般に少なく経過したが、5月は低気圧の影響で平年並になったが少雨であった。また高気圧に覆われて晴れる日が多く多照であった。

中国地方の梅雨入りは6月14日ごろでかなり遅く、また梅雨明けは7月23日ごろで遅かった。降水量は前半が梅雨前線の影響は少なくまとまった雨にはならなかったが、後半は台風の影響もあり平年より多くなった。

夏は、梅雨前線の影響で6月～7月は日照不足となり、また7月を中心に低温となった。8月になると太平洋高気圧の勢力が強まり気温も高くなった。

秋は、高気圧に覆われて全般に晴れる日が多かった。11月になると寒気が入る日もあったが**高温**で経過した。また台風、低気圧及び前線などの影響を受けることが少なかったため、**少雨**となった。12月は、下旬の終わりに強い寒気が入ったものの、その他の日は冬型の気圧配置は長続きしなかった。

平均気温は「高い」～「かなり高い」。

降水量は「少ない」。岡山、上長田、恩原、矢掛、虫明は「かなり少ない」。

日照時間は「多い」。上長田、今岡、高梁「かなり多い」。岡山、奈義、笠岡は「平年並み」。

季節（冬・春・夏・秋）別の天気統計

<冬： 暖冬>

この冬（平成 18 年 12 月～平成 19 年 2 月）の特徴は、冬型の気圧配置となることが少なかったため**暖冬**となった。また低気圧が本州の南岸を通過することが多く、県内ではまとまった雨の降る日があり、県南部を中心に多雨、県北部では少雨、多照、少雪であった。

平均気温は「平年よりかなり高い」。

降水量は県北部を中心に「平年並み」～「平年より少ない」、県南部を中心に「平年より多い」、恩原は「平年よりかなり少ない」。

日照時間は県北部を中心に「平年より多い」～「平年よりかなり多い」、県南部を中心に「平年より多い」、岡山・笠岡は「平年並み」。

<この冬の最深積雪>

真庭市蒜山上長田

12月 43 センチ（29日：12月の月最深積雪の歴代 5 位、平年の最大値 29 センチ）

1月 20 センチ（7日、平年の最大値 50 センチ）

2月 28 センチ（2日、平年の最大値 76 センチ）

新見市千屋

12月 33 センチ（29日：12月の月最深積雪の歴代 5 位、平年の最大値 21 センチ）

1月 24 センチ（7日、平年の最大値 34 センチ）

2月 21 センチ（2日、平年の最大値 54 センチ）

美作市今岡

12月 22 センチ（29日：12月の月最深積雪の歴代 4 位、平年の最大値 15 センチ）

1月 9 センチ（7日、平年の最大値 20 センチ）

2月 13 センチ（2日、平年の最大値 23 センチ）

津山市林田

12月 19 センチ（29日：12月の月最深積雪の歴代 6 位、平年の最大値 7 センチ）

1月 6 センチ（7日、平年の最大値 10 センチ）

2月 1 センチ（2日、平年の最大値 11 センチ）

岡山市桑田町

12月0センチ(30日、平年の最大値0センチ)
1月0センチ(7日、平年の最大値1センチ)
2月 - (平年の最大値2センチ)

<12月の天気概況：高温・多雨・日照不足・下旬の大雪>

12月は、上旬前半と中旬後半に冬型の気圧配置となり寒気が南下し、一時的に気温が平年を下回り、中旬後半にはこの冬初めて県北部で積雪を観測した。下旬後半にも冬型の気圧配置となり、強い寒気が流れ込み、県内では28日から29日にかけて荒れた天気となり、県北部を中心に断続的に降雪が続き、12月の最深積雪の上位を更新する大雪となり、県北部では真冬日となる所があった。

12月は周期的に寒気が南下し冬型の気圧配置となったが、他の日は寒気の南下は小さく、暖かな日が続き、月平均気温は平年より高い所が多かった。また、南岸を低気圧や前線が通ることが多く、曇りや雨の日が多かったことから、月降水量が平年より多い所や月間日照時間が平年より少ない所が多かった。

<生物季節観測>

12月1日に、イチヨウの落葉(後楽園)を観測した。平年は11月28日、去年は12月4日。

12月4日に、イロハカエデの落葉(後楽園)を観測した。平年は12月10日、去年は12月5日。

<1月の天気概況：高温・少雨・多照・少雪>

1月は、寒気の南下は一時的で冬型の気圧配置が長続きせず、本州の南海上を低気圧や前線が通過しやすく曇りや雨の日があったが、影響が小さかったことから、県内の月平均気温は平年より高く、月降水量は平年より少なく、月間日照時間は平年より多く、県北部の降雪量は平年より少なく、1月の県内は高温・少雨・多照・少雪となった。

<生物季節観測>

1月5日に、ツバキの開花(後楽園)を観測した。平年は1月16日、去年は1月15日。

1月10日に、スイセンの開花(後楽園)を観測した。平年は1月16日、去年は1月10日。

1月30日に、ヒバリの初鳴(百間川)を観測した。平年は2月18日、去年は2月18日。

<2月の天気概況：高温・県中部を中心とした多雨・県北部を中心とした多照・少雪・春一番>

2月は、高気圧と低気圧が数日の周期で通過し、冬型の気圧配置は長続きしなかった。高気圧に覆われる日が多く、低気圧の通過後も強い寒気の南下はほとんどなく、2月の平均気温は顕著な高温となった。

2月中旬と下旬には日本の南海上を通過した低気圧の影響で、この時期としてはまとまった雨が降り、2月の月降水量は県中部を中心に平年より多かった。

冬型の気圧配置が長続きせず、高気圧に覆われる日が多かったため、県北部の山地では2月の月降水量が平年より少なく、県北部を中心に月間日照時間が平年より多かった。また、県北部の降雪量は平年よりかなり少なかった。

<生物季節観測>

2月10日に、ウメの開花(後楽園)を観測した。平年は2月8日、去年は3月2日。

2月12日に、ウグイスの初鳴(中島)を観測した。平年は3月4日、去年は3月5日。

<春：少雨・多照>

この春(平成19年3月~5月)は、周期的に寒気が流れ込み、気温の変動が大きく、県北を中心に気温が平年より低い日が多かった。

3月下旬にまとまった雨が降った以外は、3月、4月の降水量は少なく経過したが、5月には発達した低気圧の影響で強風が吹き、降水量もほぼ平年並みとなった。

高気圧に覆われた晴れの日が多く、日照時間は平年より多くなり、期間を通じて少雨、多照の春となった。

平均気温は「平年並み」、岡山、倉敷、玉野は「平年より高い」。

降水量は「平年よりかなり少ない」~「平年より少ない」

日照時間は「平年より多い」～「平年よりかなり多い」

< 3月の天気概況：中旬に低温・少雨・多照 >

3月は、県内の月平均気温は、県中部を中心に平年並の所が多かったが、気温の変動が大きかった。上旬前半は、移動性高気圧に覆われる日が多かったが、上旬後半から中旬にかけて冬型の気圧配置となる日が多く、日本付近に寒気が流れ込んだため、気温が平年を下回る日が多かった。下旬は、移動性高気圧に覆われる日や、日本海の低気圧に暖かい空気が流れ込んだ日があったため、気温が平年を上回る日が多かった。3月は中旬を中心に低温が顕著であった。

月降水量は平年より少なく、月間日照時間は平年より多かった。

< 黄砂 >

27日に四国の南海上を低気圧が通過した後、28日には移動性の高気圧に覆われた。このため、西日本の広い範囲で黄砂を観測した。岡山地方気象台では、28日11時前から29日6時にかけて黄砂を観測した。

< 生物季節観測 >

3月2日に、タンポポの開花（竹田）を観測した。平年は3月18日、去年は3月24日。

3月6日に、モンシロチョウの初見（今在家）を観測した。平年は3月22日、去年は4月3日。

3月8日に、ツバメの初見（浜）を観測した。平年は3月24日、去年は3月14日。

3月14日に、スミレの開花（半田山）を観測した。平年は3月27日、去年は3月28日。

3月26日に、サクラの開花（後樂園）を観測した。平年は3月31日、去年は3月29日。

< 4月の天気概況：気温の変動大きく低温傾向・少雨・多照 >

4月は、高気圧に覆われて晴れる日もあったが、低気圧や前線が次々に通過して、短い周期で天気が変わり、曇や雨のぐずついた天気の日が多かった。

県内の月平均気温は、平年より低い所もあったが、ほぼ平年並みのところが多かった。また、最低気温が氷点下になる日や、内陸部で真夏日になる日があるなど、気温の変動が大きかった。

前線や低気圧の影響は少なく、天気の崩れが小さかったことから、降水量は各地点とも平年より少なくなり、4月として降水量の少ない方からの歴代1位を更新した地点（岡山、倉敷、赤磐、今岡）があった。

天気の崩れが小さかったことや、高気圧に覆われて晴れる日があったことから、日照時間は平年並みから平年より多いところが多かった。

< 黄砂 >

前線通過後、大陸からの高気圧に覆われたため、西日本は広い範囲に黄砂が飛来し、岡山地方気象台では、1日9時30分から3日6時にかけて黄砂を観測した。

< 生物季節観測 >

4月4日に、サクラの満開（後樂園）を観測した。平年は4月7日、去年は4月7日。

4月10日に、イチヨウの発芽（後樂園）を観測した。平年は4月10日、去年は4月14日。

4月16日に、ノダフジの開花（半田山）を観測した。平年は4月21日、去年は4月21日。

4月24日に、シバの発芽（気象台）を観測した。平年は4月13日、去年は4月13日。

4月28日に、キアゲハの初見（岡山市いずみ町）を観測した。平年は4月30日、去年は5月4日。

< 5月の天気概況：気温の変動大、低気圧通過に伴う強風 >

5月は、周期的に低気圧が通過して雨が降り、その前後に寒気の影響で雲が広がったが、高気圧に覆われた晴れの日が多かった。上旬と下旬には平年より気温の高い日があったが、中旬には気温の低い日が多かった。

発達した低気圧の通過に伴い強風が吹き、日最大風速の歴代1位を更新した地点が多かった。

また、移動性高気圧に覆われて晴れる日が多く、日照時間は平年より多くなった。

< 黄砂 >

前線の通過後大陸からの高気圧に覆われてきて、岡山地方気象台では、5月26日7時50分から27日11

時 30 分まで黄砂を観測した。

< 生物季節観測 >

5月13日に、ハルゼミの初鳴（岡山市今在家）を観測した。平年は5月6日、去年は欠測。

5月17日に、ホタルの初見（岡山市今在家）を観測した。平年は5月24日、去年は5月22日。

5月24日に、シオカラトンボの初見（岡山市津高）を観測した。平年は6月15日、去年は6月1日。

< アメダス観測所の極値更新 >

日最大風速と風向（カッコ内は従来の極値）

奈義 北北西 16m/s 5/10 （北 11m/s 2005/5/15）

今岡 北 9m/s 5/27 （北 9m/s 2005/5/15）

久世 北西 8m/s 5/10 （北北西 7m/s 2005/5/15）

新見 西北西 10m/s 5/10 （東 9m/s 2003/5/31）

福渡 北北西 9m/s 5/10 （南南東 7m/s 2003/5/30）

倉敷 南西 11m/s 5/17 （南西 8m/s 1989/5/14）

笠岡 西南西 10m/s 5/17 （西北西 9m/s 2007/5/10、北東 9m/s 2003/5/31）

玉野 東南東 15m/s 5/1 （東南東 15m/s 2003/5/31）

日最大1時間降水量

富 16mm 5/18 （16mm 2006/5/11）

新見 30mm 5/18 （20mm 1980/5/21）

< 夏： 7月を中心に低温・日照不足 >

この夏（平成19年6月～8月）は、梅雨前線の影響で6月～7月は日照不足となり、7月を中心に低温となった。8月になると太平洋高気圧の勢力が強まり、日照時間は多くなり、気温は高くなった。

中国地方の梅雨入りは6月14日ごろでかなり遅く、また梅雨明けは7月23日ごろで遅かった。

平均気温は「平年並み」～「高い」。

降水量は「平年並み」～「多い」、岡山、久世、新見、矢掛、倉敷、笠岡は「少ない」。

日照時間は「平年並み」～「多い」、津山、千屋、奈義は「少ない」。

< 6月の天気概況：北部の日照不足・高温 >

6月は、九州南岸の梅雨前線や日本海側の低気圧の影響を受けて、雲が広がりやすく、所々で雨が降った。13日頃から次第に梅雨前線が北上し、14日にかけて雨が降り、中国地方は梅雨入りとなった。

梅雨前線の中国地方への影響は少なく、まとまった雨にはならなかった。期間の後半は南海上の高気圧から暖かい空気が流れ込んだため、県内の多くの地点で最高気温が30 を超える日が続いた。

平均気温は「平年並み」～「高い」、岡山、倉敷、玉野は「かなり高い」。

降水量は「平年並み」～「少ない」、福渡、虫明は「かなり少ない」。

日照時間は「平年並み」～「少ない」、高梁、虫明、玉野は「多い」。

< 7月の天気概況：低温・日照不足 >

7月、前半、梅雨前線の影響で曇りや雨の日が多かった、日照時間は「かなり少ない」か「少ない」で経過し、9日に「日照不足に関する岡山県気象情報」を発表した。中旬は四国の南海上を東進した台風第4号と梅雨前線の影響や寒気を伴った気圧の谷の影響で、曇りや雨の降る日が多く、日照時間は「かなり少ない」、降水量は「かなり多い」か「多い」で経過した。

後半は、東シナ海に中心をもつ高気圧に覆われ晴れの日が多くなったが、上空の寒気や日射の影響で不安定な気象状態となり、雷を伴い強い雨が降った。

「中国地方は7月23日ごろ梅雨明けしたとみられる」と発表した。

平均気温は「低い」、倉敷、玉野は「平年並み」。

降水量は「平年並み」～「多い」、和気は「かなり多い」。

日照時間は「少ない」、虫明、玉野は「かなり少ない」、和気、高梁は「平年並み」。

< 8月の天気概況：高温・不安定降水 >

上旬前半、台風第5号が山陰沖を北東進したが、ほとんど影響はなかった。その後は太平洋高気圧に覆われたが、午後から強い日射と、上空の寒気の影響で大気の状態が不安定となり、北部を中心に所々で雨や雷雨の所があった。平均気温は「平年並み」、上長田は「高い」、降水量は「平年並み」、恩原、今岡は「多い」、上長田は「かなり多い」、日照時間は「平年並み」の所が多かったが、高梁は「多い」、奈義は「少ない」で経過した。

中旬は、太平洋高気圧に覆われる日が多く、平均気温、日照時間とも全観測地点で「かなり高い」、「かなり多い」、また降水量は大気不安定による降水で雨量にばらつきがあり「かなり少ない」から「少ない」、久世、下皆部、赤磐、陣山、高梁は「平年並み」、佐屋は「かなり多い」で経過した。

下旬は、太平洋高気圧に覆われて概ね晴れる日が多かったが、上空の寒気や強い日射の影響で大気の状態が不安定となり雨や雷雨の所があった。その後は前線の影響で雲が広がり、所々で雨や雷雨となった。平均気温は「平年並み」～「高い」、玉野は「かなり高い」、降水量は「多い」～「かなり多い」、岡山、新見、矢掛、倉敷、笠岡、玉野は「平年並み」、日照時間は「平年並み」～「少ない」で経過した。

8月23日に、「高温に関する岡山県気象情報第2号」を発表した。

平均気温は「高い」、上長田、久世は「かなり高い」、笠岡は「平年並み」、
降水量は「平年並み」～「多い」、岡山、矢掛、倉敷、笠岡、玉野は「少ない」、
日照時間は「平年並み」～「多い」、高梁は「かなり多い」。

< 6月の特徴：北部の日照不足・高温 >

梅雨前線や日本海側の低気圧の影響で、雲が広がりやすく、北部を中心に、日照時間の少ない方からの順位の更新、2位更新は久世、3位更新は新見、5位更新は奈義、6位更新は久世、7位更新は福渡を観測した。

下旬は、南海上の高気圧から暖かい空気が流れ込んだため、県内の多くの地点で最高気温が30を超え
る日が続いた。

< 7月の特徴：低温・日照不足 >

梅雨前線の影響で曇りや雨の日が多かった、日照時間は「少ない」、虫明、玉野は「かなり少ない」で経過し、9日に「日照不足に関する岡山県気象情報」を発表した。気温は、倉敷、玉野は「平年並み」、その他多くの観測地点では「低い」で経過した。

月最低気温（7月）の低い方からの順位の更新

5位更新は今岡、福渡、虫明、笠岡、6位更新は上長田、奈義、新見、和気、高梁、7位更新は千屋、久世を観測した。

月間日照時間（7月）の少ない方からの順位の更新

3位更新は虫明、5位更新は久世、新見、倉敷、6位更新は奈義、笠岡、7位更新は玉野を観測した。

< 8月の特徴：高温・不安定降水 >

高温、連日の真夏日と猛暑日

8月上旬の終わり頃から、太平洋高気圧に覆われる日が多くなり、岡山では日最高気温が30以上の真夏日を8月1日と2日、8月4日から29日まで連日観測した。また日最高気温が35以上の猛暑日を8月15日から20日まで連続観測、22日及び25日から27日まで猛暑日を観測した。

アメダス観測所、高梁で18日、日最高気温、39.0を観測し歴代記録を更新した。

月平均気温（8月）の高い方からの順位の更新

2位更新は上長田、津山、4位更新は千屋、久世、高梁、倉敷、また5位更新は岡山、和気を観測した。

雷を伴う激しい雨

太平洋高気圧に覆われ晴れる日が多かったが、8月19日から20日にかけて上空に寒気が流れ込み、午後を中心に大気の状態が不安定となった。

アメダス観測所、佐屋で19日、日最大1時間降水量、61mmを観測し歴代記録を更新した。

< 日本に接近した台風 >

(台風第 5 号)

台風第 5 号は、7 月 29 日 15 時マリアナ諸島で発生し、31 日 9 時小笠原近海。8 月 2 日 9 時には日本の南海上、15 時には宮崎市の東海上を北上し、18 時前に日向市付近に上陸、3 日 1 時過ぎ山口県宇部市付近に再上陸、その後日本海に抜け北東に進んだ。

(台風第 6 号)

台風第 6 号は、8 月 5 日 15 時フィリピンの東海上で発生し、石垣島の南海上を西北西進して、7 日 24 時には台湾に上陸し、弱まりながら西よりに進み、8 日 15 時には熱帯低気圧に変わった。

(台風第 7 号)

台風第 7 号は、8 日 9 時沖縄の南海上で発生し北西に進み、9 日 12 時に与那国島の南南西約 200 キロ付近で熱帯低気圧に変わった。

(台風第 8 号)

台風第 8 号は、8 月 13 日 3 時フィリピンの東で発生し、その後西から北西に進み、20 日 9 時には華中で熱帯低気圧となる。

(台風第 9 号)

台風第 9 号は、8 月 29 日 15 時、南鳥島近海で発生し、9 月 3 日 6 時には父島の東約 500 km、6 日 9 時には八丈島の南西海上を北上し、7 日 2 時前に神奈川県小田原市付近に上陸、関東から東北地方を縦断、8 日 1 時前頃に北海道函館市付近に再上陸後オホーツク海に出て温帯低気圧に変わる。

< 6 月のアメダス観測所の極値更新 > (カッコ内は従来 の 極値)

日最大風速・風向

今岡 北北東 9m/s 6 月 7 日 (北北東 9m/s 2005 年 6 月 4 日)

月間日照時間の多い方から

玉野 192.6h (170.3h 2006 年 6 月)

< 7 月のアメダス観測所の極値更新 > (カッコ内は従来 の 極値)

日最大風速と風向 (カッコ内は従来 の 極値)

和気 北東 9m/s 7 月 14 日 (北東 8m/s 1997/7/26)

虫明 東 7m/s 7 月 14 日 (東 7m/s 2004/7/31)

玉野 東 18m/s 7 月 14 日 (東 18m/s 2004/7/31)

日最大降水量 (カッコ内は従来 の 極値)

和気 109 mm 7 月 14 日 (102 mm 1995/7/3)

虫明 121 mm 7 月 14 日 (102 mm 1995/7/3)

< 7 月の気象官署の極値更新 > (カッコ内は従来 の 極値)

日最少相対湿度

岡山 26% 7 月 24 日 (28% 1997/7/18)

< 8 月のアメダス観測所の極値更新 > (カッコ内は従来 の 極値)

日最高気温

高梁 39.0 8 月 18 日 (38.8 1994 年 8 月 8 日)

日最大 1 時間降水量

佐屋 61 mm 8 月 19 日 (53 mm 2004 年 8 月 14 日)

日最大風速と風向

上長田 南南東 8m/s 8月2日 (北東 7m/s 2007年8月4日)

< 生物季節観測 >

6月9日に、アジサイシンカの開花(西川緑道公園)を観測した。平年は6月12日、昨年は6月9日。
7月2日に、ニイニイゼミの初鳴(後楽園)を観測した。平年は7月4日、昨年は7月9日。
7月10日に、アブラゼミの初鳴(今在家)を観測した。平年は7月14日、昨年は7月15日。
7月22日に、ツクツクホウシの初鳴(後楽園)を観測した。平年は7月19日、昨年は7月6日。
7月28日に、サルスベリの開花(岡山大学)を観測した。平年は7月26日、昨年は8月8日。
8月2日に、エンマコウロギの初鳴(津島)を観測した。平年は8月15日、昨年は8月23日。
8月30日に、アキアカネの初見(いずみ町)を観測した。平年は8月16日、昨年は9月3日。
8月31日に、ヤマハギの開花(半田山)を観測した。平年は9月6日、昨年は9月11日。

< 秋： 高温・少雨 >

この秋(9~11月)は、8月から引き続いて10月上旬までは、日本の南東海上の太平洋高気圧がかなり強かったため、晴れて気温の高い日が続き**特に9月は高温**となった。10月中旬以降も一時的に雨の降る日もあったが高気圧に覆われる日が多く気温は高く、降水量も少ない状態で経過した。11月になると一時的に寒気が入り、気温は平年並となるが、引き続き降水量の少ない状態で経過した。

この秋の平均気温は岡山で19.8(平年値17.8)津山で17.0(平年値15.2)を観測し、統計開始以来第1位と第2位の**高温**となった。日照時間は平年より多くなった。また台風、低気圧及び前線の影響を受けることが少なかったため、岡山では降水量が平年の35%と、統計開始以来最も少ない**少雨**となった。

平均気温は「かなり高い」。福渡は「高い」。

降水量は「かなり少ない」~「少ない」。

日照時間は「かなり多い」。岡山、津山、久世、和気、笠岡は「多い」。奈義は「平年並み」。

< 9月の特徴：高温・少雨・多照 >

高温、上旬から下旬の初めにかけて真夏日

太平洋高気圧に覆われて全般に晴れる日が多かったため、下旬の初めまでは北部の一部を除いて最高気温が30以上の真夏日になる日が多く、平均気温は全ての観測地点でかなり高くなった。前線や台風による影響も少なかったことから降水量はかなり少なく、19日に「高温と少雨に関する岡山県気象情報第2号」を発表した。また全般に太平洋高気圧に覆われる日が多かったため、日照時間は多かった。

平均気温(9月)の高い方からの順位の更新

1位更新は上長田、千屋、奈義、今岡、久世、津山、福渡、和気、高梁、岡山、虫明、倉敷、笠岡、玉野、2位更新は新見で観測した。

月降水量(9月)の少ない方からの順位の更新

1位更新は上長田、恩原、福渡、3位更新は今岡、津山、矢掛、虫明、4位更新は奈義、久世、赤磐、岡山、5位更新は千屋、天子山、和気、6位更新は新見、佐屋、8位更新は陣山、倉敷、10位更新は下皆部、玉野で観測した。

月間日照時間(9月)の多い方からの順位の更新

1位更新は高梁、倉敷、2位は岡山、虫明、3位は笠岡、玉野、5位更新は上長田、津山、福渡、7位は和気、8位は千屋、新見で観測した。

< 10月の特徴：高温・少雨・多照 >

高気圧に覆われて全般に晴れる日が多かったため、平均気温は玉野で20.1(平年値18.3)を観測し統計開始以来第2位の**高温**となった。また26日は寒気の影響を受けて強い雨が降ったが、前線や台風等の影響を受けることが少なかったため、月降水量は少なかった。また高気圧に覆われて晴れる日が多かったため、日照時間は多かった。

月平均気温(10月)の高い方からの順位の更新

2位更新は玉野、3位更新は上長田、千屋、今岡、久世、津山、新見、福渡、和気、高梁、岡山、虫明、

倉敷、笠岡、5位更新は奈義で観測した。

月降水量（10月）の少ない方からの順位の更新

1位更新は高梁、矢掛、倉敷、4位更新は陣山、岡山、笠岡、6位更新は千屋、7位更新は恩原、佐屋、福渡、8位更新は新見、10位更新は赤磐で観測した。

月間日照時間（10月）の多い方からの順位の更新

2位更新は上長田、3位更新は高梁、6位更新は久世、7位更新は今岡、8位更新は千屋、福渡、倉敷、9位更新は奈義、新見、10位更新は虫明、玉野で観測した。

< 11月の特徴：少雨・多照 >

高気圧に覆われて全般に晴れる日が多く日照時間が多かった。また中旬や下旬は冬型の気圧配置や気圧の谷の影響で北部の山地を中心に雨の降る日もあったが降水量は少なく、30日には「少雨に関する岡山県気象情報第1号」を発表した。気温は中旬を中心に冬型の気圧配置や気圧の谷の影響で寒気が入りやすくなり平年並で経過した。

月降水量（11月）の少ない方からの順位の更新

3位更新は、上長田、津山、天子山、福渡、矢掛、4位更新は千屋、久世、下皆部、赤磐、陣山、和気、岡山、倉敷、5位更新は、新見、虫明、笠岡、玉野、6位更新は佐屋、7位更新は奈義、今岡で観測した。

月間日照時間（11月）の多い方からの順位の更新

1位更新は上長田、5位更新は今岡、久世、新見、高梁、玉野、6位更新は、千屋、福渡、倉敷、笠岡、7位更新は、岡山、8位更新は、和気、10位更新は虫明で観測した。

< 日本に接近した台風 >

（台風第9号）

台風第9号は、8月29日15時、南鳥島近海で発生し、9月3日6時には父島の東約500km、6日9時には八丈島の南西海上を北上し、7日2時前に神奈川県小田原市付近に上陸、関東から東北地方を縦断、8日1時前に北海道函館市付近に再上陸後オホーツク海に出て温帯低気圧に変わる。

（台風第11号）

台風第11号は、9月13日15時、南大東島の南南東約390kmで発生、14日10時には那覇市の南西、14日23時久米島付近、15日17時には奄美大島の西北西、15日21時チェジュ島の南を通過し、日本海に入り、17日に温帯低気圧に変わる。

（台風第12号）

台風第12号は、9月16日9時、フィリピンの東で発生、17日0時には沖縄の南、18日5時には石垣島付近、18日9時に西表島付近を通過、19日0時には台北の北北西にあり西北西に進んで、19日21時熱帯低気圧に変わる。

（台風第15号）

台風第15号は、10月2日9時フィリピンの東で発生し、沖縄の南海上を北西進し、7日の21時頃には華中に上陸し、8日21時に東シナ海で温帯低気圧となる。

（台風第20号）

台風第20号は、10月26日9時南大東島の南で発生し、房総半島の沖を通過し、28日3時三陸沖で温帯低気圧になる。

< 9月のアメダス観測所の極値更新 >（カッコ内は従来の極値）

月平均気温の高い方から

| | | |
|-----|--------|----------------|
| 上長田 | : 21.8 | (1999年 21.7) |
| 千屋 | : 21.0 | (1999年 21.0) |
| 奈義 | : 23.9 | (1999年 23.4) |
| 今岡 | : 24.0 | (1999年 23.3) |
| 久世 | : 24.4 | (1999年 24.0) |
| 福渡 | : 24.4 | (1999年 24.1) |
| 和気 | : 24.8 | (1999年 24.3) |

高梁 : 25.1 (1999年 24.6)
虫明 : 25.8 (1999年 25.3)
倉敷 : 26.5 (1999年 25.8)
笠岡 : 26.3 (1999年 25.7)
玉野 : 27.1 (1999年 26.3)

日最低気温の高い方から

和気 : 9月15日 26.7 (1981年9月3日 25.9)
高梁 : 9月15日 26.7 (2000年9月15日 25.5)
虫明 : 9月15日 26.6 (1981年9月3日 26.1)

日最高気温の高い方から

倉敷 : 9月6日 34.7 (2000年9月1日 34.6)

月降水量の少ない方から

上長田 : 61 mm (1984年 83 mm)
恩原 : 79 mm (1995年 108 mm)
福渡 : 50 mm (1991年 57 mm)

月間日照時間の多い方から

高梁 : 150.7 h (2003年 141.9 h)
倉敷 : 186.0 h (2003年 180.3 h)

日最大1時間降水量

高梁 : 9月16日 43 mm (1976年9月11日 42 mm)

< 気象官署の極値更新 >

月平均気温の高い方から

津山 : 24.5 (1999年 23.9)
岡山 : 27.1 (1999年 26.4)

< 10月のアメダス観測所の極値更新 > (かっこ内は従来の極値)

日最大風向風速

今岡 : 10月27日 北 8m/s (2005年10月19日 北 7m/s)

日最低気温の高い方から

和気 : 10月8日 21.4 (1998年10月15日 21.3)

月降水量の少ない方から

高梁 : 13 mm (1986年 22 mm)
矢掛 : 19 mm (1997年 27 mm)
倉敷 : 17 mm (1986年 26 mm)

・気象官署の極値更新はありません

< 11月のアメダス観測所の極値更新 > (かっこ内は従来の極値)

月間日照時間の多い方から

上長田 : 100.5 h (1991年 98.2 h)

日最大風向風速

久世 : 11月18日 西北西 7m/s (2006年11月7日 西北西 7m/s)

・気象官署の極値更新はありません。

< 生物季節観測 >

- 9月2日に、モズの初鳴（岡山市津島）を観測した。平年は9月13日、昨年は9月16日。
- 9月12日に、ススキ開花（後楽園）を観測した。平年は9月10日、昨年は10月9日。
- 9月21日に、ヒガンバナ開花（岡山市浜）を観測した。平年は9月15日、昨年は9月17日。
- 11月27日に、イチョウの黄葉（後楽園）を観測した。平年は11月14日、昨年は11月25日。
- 11月30日に、イロハカエデの紅葉（後楽園）を観測した。平年は11月26日、昨年は11月27日。

気象官署（岡山・津山）とアメダス観測所では統計方法が異なるため、観測値に違いが出る場合があります。天気概況では気象官署についてもアメダス観測所として処理した値を使用しています。

< 12月の特徴：高温・多雨 >

30～31日にかけては強い冬型気圧配置になり、北部を中心に雪や雨が降り南部では概ね晴れたが、全般に冬型の気圧配置になる日は少なく、強い寒気が入らなかったため、気温は高く経過した。また、本州付近を通過した低気圧の影響で10日前後の周期で雨が降ったため、降水量は多くなった。

月平均気温（12月）の高い方からの順位の更新

1位更新は上長田、2位は倉敷、玉野、3位は岡山、津山、4位は千屋、今岡、和気、高梁、5位は虫明、6位は笠岡、7位は新見、8位は奈義、久世、福渡で観測した。

日最大風速（12月）の大きい方からの順位の更新

1位更新は今岡、奈義、和気、2位は津山、高梁、4位は福渡、5位は新見、6位は虫明、倉敷、7位は上長田、岡山、9位は玉野で観測した。

月降水量（12月）の多い方からの順位の更新

2位更新は、新見、下皆部、天子山、赤磐、陣山、福渡、和気、高梁、佐屋、矢掛、岡山、虫明、倉敷、笠岡、玉野、4位は、津山、5位は、久世、10位は奈義で観測した。

日降水量の多い方からの順位の更新

2位更新は、天子山、赤磐、陣山、福渡、高梁、佐屋、矢掛、岡山、倉敷、笠岡、玉野、3位は新見、下皆部、和気、虫明、5位は、津山、9位は久世、10位は奈義、今岡で観測した。

< 12月のアメダス観測所の極値更新 >（カッコ内は従来の極値）

月平均気温の高い方から

上長田 : 4.2 (2004年 4.0)

日最大風向風速

奈義 : 12月30日 南西 8m/s (2006年12月10日 北 8m/s)

今岡 : 12月30日 南南西 7m/s (2006年12月22日 北 6m/s)

和気 : 12月24日 北北東 7m/s (1988年12月16日 南西 7m/s)

- ・ 気象官署の極値更新はありません。

< 生物季節観測 >

- 12月4日に、イチョウの落葉（後楽園）を観測した。平年は11月28日、昨年は12月1日。
- 12月4日に、イロハカエデ落葉（後楽園）を観測した。平年は12月10日、昨年は12月4日。

< 季節現象 >

- 12月30日に、岡山地方気象台で初雪を観測した。平年は12月16日、昨年は12月29日。